



活血化瘀剤

『わかる中医学入門』 162-163 頁

活血化瘀剤とは

血の流れを活性化する方剤。または滞った血を流す方剤。
血瘀証の治療に使われる。

けいしぶくりょうがん

桂枝茯苓丸 (医療用漢方製剤)

下焦の鬱血を解消し癥塊を緩消する

癥塊とは瘀血や痰によってできた塊・腫瘤(子宮筋腫、卵巣嚢腫は癥塊のひとつ)。
桂枝茯苓丸は主に骨盤内と下焦の血瘀を解消する。血や水の流れを下に降ろすことで、
全体としての流れを正常化する。ただし寒証の血瘀には向かない。妊婦には禁忌。

組成：桂枝 茯苓 牡丹皮 桃仁 赤芍

効能：活血化瘀 緩消癥塊

主治：血瘀 癥塊

症状の目安：下腹部の圧痛、ひきつり、腹腔内の腫瘤、月経痛、不正性器出血、
無月経、更年期の冷えのぼせ、めまい、頭痛、肩こり、シミ、動悸、精神不安、
外傷や打撲による血流障害など

けいしぶくりょうがんかよくいにな

桂枝茯苓丸加薏苡仁

桂枝茯苓丸の適応症に水湿の症状がみられる時に

組成：薏苡仁 桂枝 茯苓 牡丹皮 桃仁 赤芍

効能：活血化瘀 消癥 利水滲湿 舒筋 排膿

主治：血瘀・癥塊・水湿

症状の目安：桂枝茯苓丸の適応症 + 浮腫、腫脹をともなう関節疾患、湿疹などの
皮膚炎、シミ、にきびなど

せつしょういん

折衝飲（市販薬）

桂枝茯苓丸より活血作用が強い

桂枝茯苓丸より活血薬を多く配合しているため、より血瘀（下焦、骨盤内）が強い人に向けた方剤と言える。

組成：当帰 桃仁 牡丹皮 赤芍 川芎 桂枝 牛膝 紅花 延胡索

効能：活血化瘀 理気止痛

主治：血瘀（下焦）

症状の目安：桂枝茯苓丸に準ずる

きゅうきちようけついでい

芎歸調血飲（医療用漢方製剤）

気血を補い、気血を流す

もともとは産後の養生のための処方。体を温めながら脾気を補って気血を増やし、気血の流れをつける。

組成：川芎 当帰 牡丹皮 益母草 地黄 白朮 茯苓 陳皮 烏薬 香附子
乾姜 大棗 甘草

効能：補血活血 理気健脾

主治：血虚血瘀 脾虚気滞

症状の目安：食欲不振、腹部膨満感、軟便、下痢、めまい、しびれ、顔色が萎黄または白っぽい、憂鬱感、イライラ、頭痛、肩こり、動悸、シミ、クマ、月経異常、経血に塊が混じるなど

きゅうきちようけついでい

芎歸調血飲第一加減

芎歸調血飲よりさらに理気活血と温裏作用が強い

組成：川芎 当帰 牡丹皮 益母草 地黄 白朮 茯苓 陳皮 烏薬 香附子
乾姜 大棗 甘草 芍薬 桃仁 紅花 牛膝 枳殻（枳実） 木香 延胡索 肉桂

効能：芎歸調血飲に準ずる

主治：芎歸調血飲に準ずる

症状の目安：芎歸調血飲に準ずる

とうかくじょうきとう

桃核承気湯（医療用漢方製剤）

下焦と心の熱邪と血瘀を解消

熱邪と血が小腸で結した血熱・血瘀に対する方剤。特に下焦の鬱滞を排便によって解消するため、骨盤内の鬱血、炎症、習慣性便秘などに適している。寒証の血瘀には不向き。妊婦には禁忌。

組成：桃仁 大黄 桂枝 甘草 芒硝

効能：破血下瘀 清熱瀉下

主治：下焦蓄血 熱血互結

症状の目安：下腹部が硬く脹る、圧痛、便秘、月経痛、無月経、不正性器出血、痔核
下肢の冷え、のぼせ、頭痛、肩こり、頭痛、目の充血、歯痛、血熱妄行による鼻出血、吐血、夜間の発熱 うわごと、狂躁 など

つうどうさん

通導散（医療用漢方製剤）

桃核承気湯より作用が強い。気滞血瘀の治療に

下焦の鬱滞を排便によって解消する点は桃核承気湯と同じ。より血瘀の程度が重く、気滞をともなうケースに適している。また打撲による内出血などにも使える。

組成：紅花 当帰 蘇木 大黄 芒硝 枳実 厚朴 陳皮 木通 甘草

効能：理気活血 瀉下

主治：気滞血瘀

症状の目安：桃核承気湯に準ずる

ほようかんごとう

補陽還五湯（市販薬）

脳血管障害の後遺症・気虚血瘀に

中風（脳卒中）の後遺症向けに組まれた方剤。気虚によって推动作用や固撮作用が低下し、血を動かす力が弱い結果的に血瘀が生じた状況に適応する。

組成：黄耆 当帰 川芎 赤芍 桃仁 紅花 地竜

効能：気虚血瘀 脈絡瘀阻

主治：血虚血瘀 脾虚気滞

症状の目安：脳出血 脳梗塞など脳血管障害の後遺症、半身不随、顔面神経麻痺、言語障害、よだれ、手のしびれ、頻尿、尿もれ、尿失禁、頭部外傷の後遺症、その他一般気虚血瘀証

けっぶちくおとう

血府逐瘀湯 (市販薬)

胸中血瘀・気滞血瘀による疼痛に

活血薬、理気薬、補血薬を組み合わせた活血剤。特に胸中の気滞血瘀が目標とされるが、広く気滞血瘀に使うことができる。

組成：桃仁 紅花 当帰 生地黄 赤芍 川芎 桔梗 枳殼 柴胡 牛膝 甘草

効能：活血化瘀 疏肝理気 止痛

主治：気滞血瘀

症状の目安：胸痛、頭痛、刺痛、出血、顔や唇の色が暗い、舌下静脈の怒張、肩こり、シミ、のぼせ、イライラ、怒りっぽい、動悸、不眠など

かんしんにこうほう

冠心Ⅱ号方 (中国)

1970年代に中国が開発した、冠不全(心筋梗塞など)の治療薬

中国が国家レベルのプロジェクトとして開発した活血化瘀剤。冠不全(心臓病、心筋梗塞)の治療薬として使われる。※ただし注射薬として使用されることが多い。

組成：丹参 赤芍 川芎 紅花 降香

効能：活血化瘀

主治：心血瘀阻 血瘀証

症状の目安：血瘀による心臓部の激痛(固定痛)、左肩～背に放散する胸骨部の圧迫感、狭心症、心筋梗塞の初期、脳血栓、脳梗塞の初期

頭痛、肩こり、めまい、動悸、打撲損傷 創傷出血など

★「冠心Ⅱ号方」をもとに日本の製薬メーカーが開発

降香を木香と香附子に置き換え、1991年にイスクラ産業から発売。現在は八ツ目製薬、ウチダ和漢薬などからもそれぞれの製品名で発売されている。丹参を主薬にしている点は、中国の「冠心Ⅱ号方」と共通。

製品名：冠元顆粒(イスクラ産業)、冠源活血丸(八ツ目製薬)

ウチダの生薬製剤二号方(ウチダ和漢薬)

組成：丹参 赤芍 川芎 紅花 木香 香附子

効能：活血化瘀

主治：心血瘀阻 血瘀証